

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
札幌ビューティーアート専門学校		平成14年3月29日		後藤 寿樹		〒 060-0042 (住所) 北海道札幌市中央区大通西9丁目1-12 (電話) 011-232-3230				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科		平成15(2003)年度	-	平成30(2018)年度				
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。									
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格等)	取得可能な資格・検定：トータルメイクアップ検定ベーシック・アドバンス、CIDESCOインターナショナルエステティシャン、パーソナルカラーコーディネーター検定ベーシックサービス接遇検定1~3級 他									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	※単位数、単位いずれかに記入		単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	
		62 単位		117 単位	142 単位	5 単位	0 単位	13 単位		
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率					
130人	245人	1人		0%	10%					
就職等の状況	■卒業者数(O)		71人							
	■就職希望者数(D)		46人							
	■就職者数(E)		46人							
	■地元就職者数(F)		33人							
	■就職率(E/D)		100%							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		83%							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/O)		56%							
	■進学者数		20人							
	■その他									
	(令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:		無							
	※有の場合、例えば以下について任意記載		評価団体: - 受審年月: - 評価結果を掲載したホームページURL: -							
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/sapporo-beauty/course/total/									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)									
	総授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した演習の授業時数					単位時間				
	うち必修授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					単位時間				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					単位時間				
	(B: 単位数による算定)									
	総単位数					62 単位				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数					12 単位					
うち企業等と連携した演習の単位数					6 単位					
うち必修単位数					9 単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数					0 単位					
うち企業等と連携した必修の演習の単位数					0 単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)					3 単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)					24人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)					6人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)					0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)					0人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)					0人				
	計					30人				
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数					30人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ビューティーアート分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。提案に基づき、ビューティーアート分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
三上 善彦	札幌美容協同組合 常任理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	②
篠原 雅	合同会社さみくすCBO・オヤコノミライlab	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
西田 裕美	有限会社ネイルズエイチツー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
田中 凜花	株式会社 フレアー	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
野村 智子	札幌ビューティーアート専門学校 副校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	-
中村 純子	札幌ビューティーアート専門学校 主任	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	-
山 智之	札幌ビューティーアート専門学校 主任	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	-
山田 順子	札幌ビューティーアート専門学校 主任	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	-

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年9月6日 14:00～15:30

第2回 令和6年12月6日 14:00～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。

→委員の方々より、学生は将来、人を相手にする職業につく為、コミュニケーション力や、明るく気持ちのよい挨拶ができるように指導する事をアドバイス頂いた。そのため、就職対策の授業でコミュニケーショントレーニングを取り入れたり、卒業生来校時に挨拶の重要性を伝えてもらったりすることで、それらの力が身につくようにしている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

- ・授業内容については、1年次に10日間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界に必要な接客力を習得する。
- ・評価については、連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
着付けⅠ-A	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着付文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスをを行うための知識を習得する。	小林豊子きもの学院
着付けⅠ	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスをを行うための知識を習得する。	小林豊子きもの学院
着付けⅡ	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスをを行うための知識を習得する。	小林豊子きもの学院
ベーシックメイクⅠ	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、スキンケア～メイクアップテクニックをマスターしフルメイク基礎技術を身に付ける。	有限会社メイクアップアトリエ
ベーシックメイクⅡ	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	有限会社メイクアップアトリエ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。 ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修 ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修	
(2) 研修等の実績	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: クリエイティブ・テクニカル講習会	連携企業等: 北海道理容美容研修センター
期間: 令和6年10月2日(水)	対象: 担任教員10名
内容: クリエイティブなカット・ヘアデザイン講習会	
研修名: 理美容教育の講習会	連携企業等: 株式会社リクルート
期間: 令和6年10月3日(木)	対象: 担任教員10名
内容: Z世代の理美容教育を学ぶ	
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 伝え方研修	連携企業等: 株式会社グローバルキャリア
期間: 令和6年10月4日(金)	対象: 担任教員21名
内容: 授業力向上に向けての伝え方スキルアップセミナー	
研修名: 学校現場で必要な生徒指導に伴う違法行為を知る	連携企業等: 北海道警察
期間: 令和6年10月4日(金)	対象: 担任教員15名
内容: 闇バイト、大麻、未成年引き下げ、SNSの取り扱いについてのトラブルを学び生徒指導に生かす。	
(3) 研修等の計画	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 多様な学生に対する専門学校での指導と支援の実態	連携企業等: 北海道理容美容研修センター
期間: 令和7年10月2日(木)	対象: 担任教員10名
内容: 現代の学生傾向や合理的配慮の提供など、専門学校をめぐる課題を紐解く研修	
研修名: 理美容教育の講習会	連携企業等: 北海道理容美容研修センター
期間: 令和7年10月3日(金)	対象: 担任教員10名
内容: 訪問美容が拓く多様なキャリアパスについて	
研修名: 理美容教育の講習会	連携企業等: 北海道理容美容研修センター
期間: 令和7年10月3日(金)	対象: 担任教員10名
内容: 次世代の美容人材育成を担う教員へ『美・食・エンターテインメント』について	
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 学生への理解と対応	連携企業等: ホリスティックケアサポート
期間: 令和7年9月25日(木)	対象: 全教職員
内容: 心理セラピストによる学生対応について	
研修名: 伝え方研修	連携企業等: 株式会社グローバルキャリア
期間: 令和7年11月	対象: 担任教員21名
内容: 授業力向上に向けての伝え方スキルアップセミナー	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	(11) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
委員の方々より、美容現場では資料を一から作成し、PDF化してお客様へお伝えすることから、Excelのスキル向上や資料作成の知識に関する内容を就職対策及びメイク実習の時間で取り入れた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
田口 佳美	有限会社 トゥルーウィル(レジャンデール)	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
安西 勇輔	株式会社Lim(Col)	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
小室 友里奈	株式会社P・S・Q(パスク)エーナイン	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
平野 あさみ	フリーランスメイクアップアーティスト	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/sapporo-beauty/disclosure/2025/docs/kankeisya.pdf>

公表時期: 令和7年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/sapporo-beauty/disclosure/>

公表時期: 令和7年5月30日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 トータルビューティー科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		サロンマナー I	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方はじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年・前	30	2	○			○	○		○	
2	○		カラーコーディネート I	ファッションコーディネートの現場で即戦力となるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身につける。パーソナルカラーコーディネートの資格を目指す。	1年・前	30	2	○			○	○		○	
3	○		未来デザインプログラム I	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年・前	15	1	○			○	○		○	
4		○	デッサン・イラストレーション	物の形をよく観察する力と洞察力を養うことでより深く芸術を理解する。またデッサン力から応用することによりコミュニケーション能力を高める。	1年・前	30	2	○			○		○		
5		○	皮膚学 I	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1年・前	30	2	○			○	○			
6		○	生理学 I	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。 ・骨格系・筋系・神経系	1年・前	30	2	○			○	○			
7		○	栄養学 I	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。 ・5大栄養素 ・栄養所要量 ・食物摂取とその消化吸收	1年・前	15	1	○			○	○			
8		○	香粧品学 I	化粧品上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料	1年・前	15	1	○			○		○		
9		○	エステティック概論・衛生学・関係法規 I	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。 ・法の基礎知識・公衆衛生・衛生管理	1年・前	15	1	○			○		○		
10		○	ベーシックエステ I	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。	1年・前	60	2		○		○	○			
11		○	ベーシックネイル I	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイルの基礎を学ぶ。	1年・前	60	2		○		○	○			
12		○	ベーシックメイク I	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、スキンケア～メイクアップテクニックをマスターしフルメイク基礎技術を身につける。	1年・前	60	2		○		○	○		○	
13		○	就職対策 I	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導する。	1年・前	15	1	○			○	○			
14		○	キャリアデザイン I	大人になるための包括的なガイドを目的とし、日々の生活で直面する挑戦に対処するためのスキルと知識を身につける。	1年・前	15	1	○			○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティー科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
15	○		カラーコーディネートⅡ	ファッションコーディネートの現場で即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に着ける。パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指す。	1年・後	30	2	○			○		○		○
16	○		未来デザインプログラムⅡ	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年・後	15	1	○			○		○		
17		○	就職対策Ⅱ	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識をもって学校生活を送る。	1年・後	15	1	○			○		○		
18		○	キャリアデザインⅡ	大人になるための包括的なガイドを目的とし、日々の生活で直面する挑戦に対処するためのスキルと知識を身につける。	1年・後	15	1	○			○		○		
19	○		サロンマナーⅡ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年・後	15	1	○			○		○		○
20		○	SNS・WEB・フォトスキル	SNS知識やWEBマーケティング並びにSNS投稿フォトスキルを学ぶ。	1年・後	15	1		○		○		○		
21		○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態 ・肌と環境・肌分析	1年・後	30	2	○			○		○		
22		○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。 ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系 ・生殖器系	1年・後	30	2	○			○		○		
23		○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。 ・栄養学から見た食品・健康と栄養・サプリメント・食品添加物	1年・後	15	1	○			○		○		
24		○	香粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・フェイシャル、ボディ化粧品・化粧品に用いられる薬剤とその働き	1年・後	15	1	○			○		○		
25		○	ベーシックネイルⅡ	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイルの基礎を学ぶ。	1年・後	30	1		○		○		○		
26		○	ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1年・後	30	1		○		○		○		
27		○	ビューティーカウンセリング	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1年・後	30	2	○			○		○		○
28		○	検定メイクⅠ	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格を目指す。	1年・後	45	3	○			○		○		
29		○	ヘアアレンジⅠ	頭部・骨格の名称、ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	1年・後	60	2		○		○		○		
30		○	パーソナルメイク	顔の分析、カラー診断、イメージに合わせて演習する。	1年・後	45	2		○		○		○		

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	ベーシックメイクⅡ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	1年・後	30	1		○		○	○			○
			○	エステティックカウンセリングⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1年・後	15	1	○			○	○			
			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。経済行為、人の身体に直接関連する法律を学ぶ。	1年・後	15	1	○			○	○			
			○	プロフェッショナルⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1年・後	60	2		○		○	○			
			○	プロボディⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1年・後	60	2		○		○	○			
			○	アロマセラピーⅠ	アロマセラピーの基礎知識を学ぶ。 ・精油の基礎知識・プロフィール ・利用法・歴史・環境	1年・後	30	2	○			○	○			
			○	スカルプチュア	JNECネイリスト技能検定1級の課題の一つとなっている、アクリル樹脂のパウダーとリキッドを使用した付け爪で、短い爪の長さを出す技術を学ぶ。	1年・後	45	2		○		○	○			
			○	ネイルケア&ネイルアートⅠーF	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	1年・後	45	2		○		○	○			
			○	検定対策Ⅰ	JNECネイリスト技能検定2～3級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく。	1年・後	45	3	○			○	○			
			○	ジェルネイルⅠ	JNAジェルネイル技能検定初級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ。	1年・後	45	2		○		○	○			
			○	コンテストⅠ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく。	1年・後	15	1	○			○	○			
			○	フェイシャル&ボディⅠ	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1年・後	45	2		○		○	○			
			○	ネイルアートⅠ	フラットアート・3Dアートやエアブラシなど基礎的なアートから高度なアート技術までの全てを学ぶ。	1年・後	30	1		○		○	○			
			○	ネイル演習	JNEC3級の取得をして、更に上級のJEC2級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する。	1年・後	30	1		○		○	○			
			○	パーソナルヘア&メイクⅠ	メイク検定アドバンスの対策を行い、撮影、ブライダル、アーティストと現場に必要な技術と知識を習得する。	1年・後	30	1		○		○	○			
			○	検定メイクⅡ	資格取得の為のメイク基礎知識技術を身に付け、カウンセリングメイク応用技術を習得する。	1年・後	30	2	○			○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティーク)															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	スマホフォト技術	実際にインスタグラムのアカウントを作成し、投稿するための撮影技術やレイアウト、コラージュの仕方を学び投稿する。効果的な投稿ができるようになり、フォロワーを増やすことができる力を身に付ける。	1年・後	15	1		○		○	○			
		○	自己プロデュース	プロデュースとは何かを理解し、自分自身のセールスポイントを知り、人に伝えられるようになる。	1年・後	15	1		○		○	○			
		○	パーソナルスタイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得すし様々な顔タイプの知識を習得し似合うメイクを診断できるようになる。美容現場でお客様へのアドバイス材料の一つとして提案ができるようになる。	1年・後	15	1	○			○	○			
		○	ビューティーフード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する。	1年・後	15	1	○			○	○			
		○	サロンワークⅠ-I	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行っていく。	1年・後	45	1			○	○	○	○		○
		○	サロンワークⅡ-I	卒業後のサロンワークを想定し集客接客などを含めサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び実際にお客様をお呼びして施術を行う。	2年・前	45	1			○	○	○	○		○
		○	サロンワークⅢ-I	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。	2年・後	45	1			○	○	○	○		○
		○	施設実習Ⅰ	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく。	2年・前	40	1			○	○	○	○		○
		○	施設実習Ⅱ	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割の理解を深め、接客の基本姿勢を学んでいく。	2年・後	40	1			○	○	○	○		○
		○	就職対策Ⅲ	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識をもって学校生活を送る。	2年・前	15	1	○			○	○			
		○	就職対策Ⅳ	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識をもって学校生活を送る。	2年・後	15	1	○			○	○			
		○	着付けⅠ-A	着付文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2年・前	30	1		○		○	○			○
		○	着付けⅠ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2年・前	30	1		○		○	○			○
		○	着付けⅡ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2年・前	30	1		○		○	○			○
		○	ビューティー接客Ⅰ	外国人のお客様に対応できる力を身につける。ビューティーアドバイザーの接客によく使うフレーズを覚えて、話すことができるようになる。	2年・前	30	2	○			○	○			
		○	ビューティー接客Ⅱ	外国人のお客様に対応できる力を身につける。ビューティーアドバイザーの接客によく使うフレーズを覚えて、話すことができるようになる。	2年・後	30	2	○			○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	ビューティーメイクⅠ-E	一般のお客様への接客の際メイクアップのご提案を出来る知識を得る。	2年・前	60	2		○		○	○			
			○	ビューティーメイクⅡ-E	一般のお客様への接客の際メイクアップのご提案を出来る知識を得る。	2年・後	60	2		○		○	○			
			○	ブランドリサーチⅠ	ブランド毎の歴史や特長（傘下ブランド等）、化粧品ブランド全般を知り、特徴を理解する。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	ブランドリサーチⅡ	ブランド毎の歴史や特長（傘下ブランド等）、化粧品ブランド全般を知り、特徴を理解する。	2年・後	45	2		○		○	○			
			○	カウンセリングⅠ	美容部員として必要な皮膚と肌悩み、化粧品について学び、日本化粧品検定2級取得を目指し、タッチアップを行い、現場のカウンセリング販売で知識を学ぶ。	2年・前	60	4	○			○	○			
			○	カウンセリングⅡ	美容部員として必要な皮膚と肌悩み、化粧品について学び、日本化粧品検定2級取得を目指し、タッチアップを行い、現場のカウンセリング販売で知識を学ぶ。	2年・後	60	4	○			○	○			
			○	クリエイティブヘアメイクⅠ	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と発想力・表現力の習得を目指す。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	クリエイティブヘアメイクⅡ	トレンド・年代別・ショーヘアメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なヘアメイク技術と発想力・表現力の習得を目指す。	2年・後	45	2		○		○	○			
			○	ファッションⅠ	自身の好みだけにとらわれない様、幅広く興味が持てる様に知識を得る。	2年・前	15	1	○			○	○			
			○	ファッションⅡ	自身の好みだけにとらわれない様、幅広く興味が持てる様に知識を得る。	2年・後	15	1	○			○	○			
			○	サロンワークⅠ-H	サロンでお客様への接客対応や施術方法を学び、お客様をお迎えして実践して、自身の技術向上を目指す。	2年・前	60	2			○	○	○			
			○	サロンワークⅡ-H	サロンでお客様への接客対応や施術方法を学び、お客様をお迎えして実践して、自身の技術向上を目指す。	2年・後	60	2			○	○	○			
			○	ビューティーメイクⅠ-F	一般のお客様への接客の際メイクアップのご提案を出来る知識を得る。	2年・前	30	1		○		○	○			
			○	ビューティーメイクⅡ-F	一般のお客様への接客の際メイクアップのご提案を出来る知識を得る。	2年・後	30	1		○		○	○			
			○	スチールヘアメイクⅠ	現場で活躍できる実践力・バック紙やライティングによるヘアメイクの映えさせ方や入れ方を理解と撮影中のライトアップによるメイクアップ知識の修得を目指す。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	スチールヘアメイクⅡ	現場で活躍できる実践力・バック紙やライティングによるヘアメイクの映えさせ方や入れ方を理解と撮影中のライトアップによるメイクアップ知識の修得を目指す。	2年・後	45	2		○		○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	ヘアアレンジⅡ	頭部・骨格の名称、ブッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2年・後	45	2		○		○	○			
			○	ヘアアレンジⅢ	頭部・骨格の名称、ブッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	ビューティーカウンセラーメイクⅠ	幅広いメイクアップの技術とや肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2年・通	60	4	○			○	○			○
			○	ビューティーカウンセラーメイクⅡ	幅広いメイクアップの技術とや肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2年・通	60	4	○			○	○			○
			○	ブライダルメイクⅠ	様々なドレスや季節に合ったメイク、列席者のメイクを学ぶ。その他、ブライダルの歴史等幅広く習得できる。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	ブライダルメイクⅡ	様々なドレスや季節に合ったメイク、列席者のメイクを学ぶ。その他、ブライダルの歴史等幅広く習得できる。	2年・後	45	2		○		○	○			
			○	特殊メイクⅠ	特殊メイク（傷・アザ・火傷・切断）など様々な道具を使用し、撮影や現場で実践できる多様な技術を学ぶ。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	特殊メイクⅡ	特殊メイク（傷・アザ・火傷・切断）・アニマルメイク・ボディジュエリーなど、エアブラシや様々な道具を使用し、撮影や現場で実践できる多様な技術を学ぶ。	2年・後	45	2		○		○	○			
			○	アーティストメイクⅠ	ショーメイクからスチールメイク、年代別メイクまで、シーンに合わせたメイクの研究や違い、特徴をとらえた技術を学ぶ。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	アーティストメイクⅡ	ショーメイクからスチールメイク、年代別メイクまで、シーンに合わせたメイクの研究や違い、特徴をとらえた技術を学ぶ。	2年・後	45	2		○		○	○			
			○	フォト&ファッションⅠ	光と影、写真のバランスについての撮影練習から、ライト・ストロボの関係性を実習を通して学ぶ。	2年・前	15	1	○			○	○			
			○	フォト&ファッションⅡ	光と影、写真のバランスについての撮影練習から、ライト・ストロボの関係性を実習を通して学ぶ。	2年・後	15	1	○			○	○			
			○	サロンワークⅠ-D	卒業後のサロンワークを想定し集客接客などを含めサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び実際にお客様をお呼びして施術を行う。	2年・前	60	2			○	○	○			○
			○	サロンワークⅡ-D	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。	2年・後	60	2			○	○	○			○
			○	エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年・通	30	2	○			○	○			
			○	エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年・通	30	2	○			○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	サロントリートメントⅠ	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・WAX脱毛・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2年・通	45	2	○			○	○			
			○	サロントリートメントⅡ	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・WAX脱毛・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2年・通	45	2	○			○	○			
			○	エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2年・前	60	4	○			○	○			
			○	エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2年・後	60	4	○			○	○			
			○	フェイシャルマニピュレーションⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニク技術、知識を深める。	2年・前	45	2	○			○	○			
			○	フェイシャルマニピュレーションⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニク技術、知識を深める。	2年・後	45	2	○			○	○			
			○	フェイシャルスキンケアⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだフェイシャル機器の技術、知識を深める。	2年・前	45	2	○			○	○			
			○	フェイシャルスキンケアⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだフェイシャル機器の技術、知識を深める。	2年・後	60	2	○			○	○			
			○	ボディベーシックⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニク技術、知識を深める。	2年・前	45	2	○			○	○			
			○	ボディベーシックⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニク技術、知識を深める。	2年・後	45	2	○			○	○			
			○	ボディテクニカルⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだボディ機器の技術、知識を深める。	2年・前	45	2	○			○	○			
			○	ボディテクニカルⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだボディ機器の技術、知識を深める。	2年・後	60	2	○			○	○			
			○	プロボディⅡ	ボディテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニク・接客マナー	2年・通	60	2	○			○	○			
			○	プロボディⅢ	ボディテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニク・接客マナー	2年・通	60	2	○			○	○			
			○	プロフェイシャルⅡ-B	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニク・接客マナー	2年・前	90	4	○			○	○			
			○	プロフェイシャルⅢ-B	フェイシャルテクニク総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニク・接客マナー	2年・後	90	4	○			○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	プロフェッショナル II - C	フェイシャルテクニック総合 (資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術の習得	2 年 ・ 前	60	2		○		○	○			
			○	プロフェッショナル III - C	フェイシャルテクニック総合 (資格試験対応) クライアントに対応した知識、技術の習得	2 年 ・ 後	60	2		○		○	○			
			○	エステティック総 論 I - B	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 年 ・ 通	30	2	○			○	○			
			○	エステティック総 論 II - B	エステティック知識総合 (H専攻対応) ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化 ・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2 年 ・ 通	30	2	○			○	○			
			○	エステティック総 論 I - C	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 年 ・ 前	15	1	○			○	○			
			○	エステティック総 論 II - C	エステティック知識総合 (資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気	2 年 ・ 後	15	1	○			○	○			
			○	アロマセラピー総 論 I	エステティック知識総合 (H専攻対応) ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化 ・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2 年 ・ 通	30	2	○			○	○			
			○	アロマセラピー総 論 II	エステティック知識総合 (H専攻対応) ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化 ・機能・脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2 年 ・ 通	30	2	○			○	○			
			○	スパセラピー I	アロマの効能や特性、健康や癒しを提供するための技術を身につける。	2 年 ・ 通	60	3		○		○	○			
			○	スパセラピー II	アロマの効能や特性、健康や癒しを提供するための技術を身につける。	2 年 ・ 通	60	3		○		○	○			
			○	検定対策 II	JNECネイリスト技能検定 2～3 級と JNA ジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく。	2 年 ・ 前	60	4	○			○	○			
			○	検定対策 III	JNECネイリスト技能検定 2～1 級と JNA ジェルネイル技能検定中級～上級の取得を目指し技術強化していく。	2 年 ・ 後	60	4	○			○	○			
			○	検定対策&スカル プチュア I	JNECネイリスト技能検定 1～2 級と特にスカルプチャー技術を強化していく。	2 年 ・ 前	60	4	○			○	○			
			○	検定対策&スカル プチュア II	JNECネイリスト技能検定 1～2 級と特にスカルプチャー技術を強化していく。	2 年 ・ 後	60	4	○			○	○			
			○	ジェルネイル II	JNA ジェルネイル技能検定中級～上級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ。	2 年 ・ 前	60	2		○		○	○			
			○	ジェルネイル III	JNA ジェルネイル技能検定中級～上級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ。	2 年 ・ 後	60	2		○		○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	コンテストⅡ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく。	2年・前	30	1		○		○	○			
			○	コンテストⅢ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく。	2年・後	30	1		○		○	○			
			○	ネイルケアⅡ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	ネイルケアⅢ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2年・後	45	2		○		○	○			
			○	ネイルアートⅡ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	ネイルアートⅢ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2年・後	45	2		○		○	○			
		○		サロンワークⅠ-J	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年・前	30	1			○	○	○			
		○		サロンワークⅡ-J	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年・後	30	1			○	○	○			
			○	エステティックカウンセリングⅠ-J	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年・前期	15	1	○			○	○			
			○	エステティックカウンセリングⅡ-J	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。	2年・後	15	1	○			○	○			
			○	アロマセラピーⅡ	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。アロマセラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度について学ぶ。	2年・前	15	1	○			○	○			
			○	アロマセラピーⅢ	アロマセラピーの基礎知識、トリートメント法や嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学を学ぶ。アロマセラピーのための健康学、メカニズム・法律問題・資格制度について学ぶ。	2年・後	15	1	○			○	○			
			○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2年・前	60	3		○		○	○			
			○	フェイシャル&ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2年・後	60	3		○		○	○			
			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2年・前	45	2		○		○	○			
			○	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2年・後	45	2		○		○	○			

(衛生専門課程 トータルビューティー科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
			○	検定対策&ジェルⅠ	JNECネイリスト技能検定2級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく。	2年・前	30	2	○			○	○			
			○	検定対策&ジェルⅡ	JNECネイリスト技能検定2級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく。	2年・後	30	2	○			○	○			
			○	パーソナルヘア&メイクⅡ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	2年・前	30	1				○	○			
			○	パーソナルヘア&メイクⅢ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	2年・後	30	1		○		○	○			
			○	トータルメイクⅠ	メイク検定アドバンスの対策を行い、撮影、ブライダル、アーティストと現場に必要な技術と知識を習得する。	2年・前	30	1		○		○	○			
			○	トータルメイクⅡ	メイク検定アドバンスの対策を行い、撮影、ブライダル、アーティストと現場に必要な技術と知識を習得する。	2年・後	30	1		○		○	○			
			○	ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2年・前	30	1		○		○	○			
			○	ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2年・後	30	1		○		○	○			
			○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2年・前	30	1		○		○	○			
			○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2年・後	30	1		○		○	○			
			○	インターンシップⅠ	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	1年・後	45	1				○	○	○		○
			○	インターンシップⅡ	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2年・前	45	1				○	○	○		○
			○	インターンシップⅢ	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる	2年・後	45	1				○	○	○		○
合計						155	科目	277 単位 (5945単位時間)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	1学年の学期区分	2期
履修方法：	原則として教育課程に定められている順序で履修する。 着付けⅠ-A、着付けⅠ、着付けⅡ、は必修科目とする。 サロンワークⅡ-I・Ⅲ-I、Ⅰ-H・Ⅱ-H、Ⅰ-D・Ⅱ-D、Ⅰ-J・Ⅱ-Jについては、いずれかを選択して履修する。	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。